

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名	全国甘草栽培協議会参画事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名 井村 幸弘
	施策	11	農業の振興			所属課	商工振興課	担当者名 末永 舞
	基本事業	34	関係機関との連携の強化			所属班	農商工連携班	(内線) 1272
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	
	一般	6	1	5	11618		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 26年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	本市が農商工連携等による事業化・産業化に向け重点的に取り組む薬用植物「甘草」に関し、国産原料としての生産基準確立や需要拡大を図るため、平成25年4月24日に県域を越えた産学官連携の全国組織として全国甘草栽培協議会が設立。本組織へ参画し、薬用植物「甘草」による地域産業の活性化に向け効率的・効果的な推進を行うもの。
【業務の流れ】	①参画に係る負担金の支出 ②協議会活動への参画 ③事務局の運営
【主な予算費目】	負担金 300千円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	薬用植物「甘草」の生産基準確立や需要拡大が望まれている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
協議会主催事業(会議、イベント等)に係る事務局運営及び参加	協議会主催事業(会議、イベント等)に係る事務局運営及び参加
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:協議会主催事業の開催回数	→イ:所管課移管(農政課へ)
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ア:全国甘草栽培協議会	→イ:全国甘草栽培協議会構成員
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→効果的・効率的な運営活動が図られる。	→ア:協議会主催事業への出席者のべ数
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
①活動指標	ア	回		10	5	6	2	2	2	2	
	イ										
②対象指標	ア	団体		6	7	8	9	10	10	10	
	イ										
③成果指標	ア	人		350	70	147	90	100	100	100	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円		300	300	300	346	404	404	404
		(A)のうち指定経費	千円		300	300	300	346	404	404	404
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		2	3	1	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間		1,139	912	408	912	912	912	912
(B)人件費計		千円		4,537	3,633	1,625	3,633	3,633	3,633	3,633	
トータルコスト(A)+(B)		千円		4,837	3,933	1,925	3,979	4,037	4,037	4,037	

事務事業名	全国甘草栽培協議会参画事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 計画どおり事業を実施できた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 計画どおり適正に事業を実施すれば達成が見込める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 組織としては、立ち上げ期を経て安定期となるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農商工連携推進事業と目的が類似するため連携の可能性あり。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 適正な事業執行のため最低限の費用である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 これ以上の削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 地域経済への波及を目的としたものであるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市が事務局である事業のため役割は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

全国の関係団体と連携し、国の補助事業も活用しながら、様々な課題解決を進めることができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 組織の役割の明確化及び仕組みづくり	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上	○																			
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域経済への波及までには、まだクリアするべき課題はあるが、今後、協議会の役割を整理したうえで、仕組みづくりを進める必要がある。																					